

子どもが生き生きと働くまち！

“うずっこタウン”が鳴門で開催



絵本を作製する子どもたち



商品を販売する子どもたち

夏休みが始まった、7月20日、キョーエイ鳴門駅前店4階で、子どもたちが主役となって、仕事や文化活動、遊びを体験できる「うずっこタウン」が、とくしま県民活動プラザ、徳島県社会福祉協議会、徳島市市民活力開発センターの主催により開催されました。

この日は、朝早くから、鳴門市内や近隣の市町村の小中学生、鳴門高校のボランティア部の生徒たち60人が集まり、それぞれ、県内、市内のNPOやボランティアグループなど13団体の方々と一緒に、絵本作りや、第九の歌唱に紙芝居、漫才づくりなどの体験活動、また、かき氷や焼きそば、フランクフルト、野菜などの実演販売活動などが行われました。

参加した子どもたちは、最初のオリエンテーションの時こそ、緊張からか、少しとまどい様子もみられましたが、体験活動がスタートすると、大人のみなさんの熱心で情熱あふれる指導や、また、参加した仲間たちとの親睦も深まり、どんどんと顔つきやふるまいまでが、いきいきと輝いたものになってきました。

体験活動を終えての成果発表のステージでは、ものおじせず、堂々と、こどもたちが持つその豊かで感性あふれる表現力でパフォーマンスしていました。また、品物の販売やステージの進行などでも、大人たちの協力を得ながら子どもたちが生き生きと元気よく活躍する様子が見られました。

地元、協同組合鳴門センター街の協力を得て実施されたこの日の催しは、未来を担っていく子どもたちにとって貴重な体験になったばかりでなく、それぞれの社会的使命をもって日常の活動を行っているNPO団体やボランティア団体にとっても、自分たちの立ち位置を再確認する機会を持てた一日となりました。

市内3団体 花づくりを通じた地域社会貢献活動が全国表彰

◇鳴門市ボランティア支援の会 平成 27 年春の緑綬褒章受章

◇協同組合鳴門センター街、黒崎地区自治振興会花街道クラブ
第 26 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞

花と緑のまちづくりに日々、地域で積み上げてきた社会貢献活動が評価され、このたび、市内の 3 団体が、栄誉ある表彰を受けました。

「鳴門市ボランティア支援の会」が社会奉仕活動などで顕著な実績があるものに授与される平成 27 年春の緑綬褒章を受賞。また、第 26 回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を「協同組合鳴門センター街」と「黒崎地区自治振興会花街道クラブ」が受賞されました。

それぞれ、長年にわたる、熱心な取り組みが高く評価されたもので、日頃から市内各地域で熱心に花づくりに取り組んでおられる多くの人たちの活動総体が、活動成果の基盤となって評価されたものと言えるでしょう。

今回の受賞を鳴門における美しいまちづくりを活性化させるものとして、みんなで喜びを分かち合いたいと思います。

2015 鳴門市ハマボウ・ヒマワリ祭りが開催されました

今年も、7 月 1 日～7 月 26 日にかけて、市内一円でハマボウ・ヒマワリ祭りが開催されました。

新しい交流接待所として、大麻町池谷の宝幢寺前に開設され、花の環づくりが広がってきました。

黄色の可憐な花のハマボウは、鳴門市の夏のシンボルとして、爽やかに咲き誇り、燦々と輝く太陽の恵みを受けてすくすくと育ったヒマワリは、その生命力あふれる大輪の姿で、訪れる人を魅了していました。



大麻町池谷 宝幢寺前の接待所



北灘町 栗田仲良し公園



鳴門ウチノ海総合公園 お花畑

コミュニティ研修会レポート



鳴門市自治振興連合会主催による平成 27 年度
コミュニティ研修会が、6 月 13 日、うずしお会館
において開催されました。

今回は、『地域の絆が孤立を包む～ドラマ「サイレント・プア」の生まれた町・豊中の地域福祉～』と題した
講演会が、豊中市社会福祉協議会事務局次長の勝部麗子
さんを講師に招いて行われました。

勝部さんは、昨年度放映された、NHKドラマ 10「サイレント・プア」のモデルとなっ
た方であり、同じくNHKのドキュメンタリー番組「プロフェッショナル仕事の流儀」に、
コミュニティソーシャルワーカーという分野の先駆者として奮闘する姿が全国的に紹介さ
れていますが、現在も地域福祉のプロフェッショナルとして最前線で頑張っておられます。

講演では、勝部さんがコミュニティソーシャルワーカーとして、これまで、地域福祉の現場
における問題の発見から解決に至るまでのプロセスや手法、また豊中市における課題解決の
しくみづくりなどについて、自らの実践例を踏まえながら紹介されました。

昭和 30 年代からニュータウンとして開発され、エレベータがない高層住宅に住む高齢者
の抱える問題を試行錯誤しながらも、解決に導いてきた事例や、ゴミ屋敷で問題とされてい
た人を周辺住民との軋轢を乗り越えながら、関係者の誰もが納得する形で解決してきた事
例、その他引きこもり問題の解決の事例などは、鳴門市にもあてはまる今日的課題を多く含
んでおり、約 150 人の聴衆者はうなずきながら、終始熱心に耳を傾けていました。

勝部さんは、「問題は、問題を起こしている本人だけにあるのではなく、地域全体の問題
である」と捉え「問題を解決するためには、本人に変わってもらいだけではなく、地域全体
が変わる必要がある」という考えのもと、地域福祉の問題に取り組んでいるとのこと。す。
排除の論理で問題を解決するのではなく、包摂の論理、人間に対する限りない信頼や愛情に
裏打ちされた決してあきらめない、ぶれない姿勢が勝部さんを動かしている原動力だと感じ
ました。

一人の問題から出発し、周りの人を共感させて町をよくしていこうという勝部さんの手法
は、これからのまちづくり、とりわけ地域福祉を考える上で大いに参考とすべきものです。

「一番厳しい人を見捨てる社会は、誰もが見捨てられる社会」だという勝部さんの言葉がす
しりと心に響いた講演会でした。

NPO法人 まちづくりサークル大麻

理事長 日下 正幸

白いあじさいが大谷焼のはちの上に咲いている。地域の人や門前通りの人たちの協力で遍路巡りをする人々、板東の地を訪れた人々の心に花どころが伝わっている。まちづくりサークル大麻の会員、ひとりひとりのボランティア精神を発揮したボランティア活動が花を咲かせ、いろいろなことが実になっている。

- ◇平成 26 年 5 月 25 日 板東公民館 10 周年を祝う会、10 年の歩み記念誌発行、記念事業
- ◇平成 26 年 12 月 7 日 記念事業おおあさ昔がたりー伝承芸能まつり（地域伝承文化）
- ◇平成 27 年 1 月 25 日 第 5 回板東公民館まつり（利用サークル出演、ほぼ市全域の皆様）
- ◇平成 27 年 3 月 1 日 板東公民館新聞まなびいニュース第 47 号発行（公民館まつり特集）
- ◇平成 27 年 5 月 1 日 同 48 号発行（連句など）
- ◇街の賑わいづくり事業、観光促進事業、まちかど新聞春号、夏号、秋号、冬号
- ◇街並みを整備する事業

～ 板東公民館開設 10 周年記念事業

おおあさ昔がたり伝承芸能まつりのプログラムの紹介 ～

- ◆ 桜獅子舞 — 桜獅子舞保存会
- ◆ 板東音頭 四季の板東 — 踊り板東若竹クラブ
- ◆ 大麻山のヒヒ — 朗読劇 徳島演劇協会
- ◆ お四国さん — 踊り ほのぼのクラブ
- ◆ 「バンドー少年物語」 — 音楽劇実行委員会
- ◆ 友愛の花ほか — 混声合唱ばんどう童謡愛唱歌の会
- ◆ ふるさと — 全員合唱



友愛の花は平成 5 年に地元の高橋敏夫さん作詞、新川清さんが作曲

「まごころで守り育てる愛の花 ♪」

各自治会の皆さま、地域の皆さま方のご支援、ご協力をいただきながら、これからも今までの歩みを大切に、未来の道を歩み続けます。鳴門市、鳴門市教育委員会、公民館利用サークルをはじめ、地域の皆さまのご支援をいただきながら会員一同協力して進みたいと存じます。



～あとがき～

夏の盛り、蝉しぐれがいっそう響き夏気分を盛り上げています。今回は、編集サイドの取材記事が多くなってしまいました。

次回からは、できるだけ読者からの寄稿文や情報を多く入れていきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。